

# 中学生が つなぐバトン





## 防災を通じた中学校と地域との連携

中央区 東川崎ふれあいのまちづくり協議会 防災部会

**防災に興味ある生徒を**

**防災ジュニアチームとして任命すると**

**地域との絆が深まっている**

一口メモ

東川崎ふれあいのまちづくり協議会防災部会では、震災の教訓を風化させない、将来の地域の担い手として、また社会教育の一貫として、平成8年「防災ジュニアチーム」を発足しました。各種防災訓練を現在月1回程度実施し、20年間で約440人が修了しています。その中で「この訓練を早く経験していたら、震災の時、亡くした兄弟を助けられたかも」という声も聞かれます。

この活動では、①押し付けはうまくいかないので、子供の意思を尊重する。②先輩の模範演技を見せて、メンバーになりたいと思わせる。③訓練で間違っても、大人が口を出さない、手伝わない。④訓練は子供が優先、大人は後です。などの工夫をしています。現在、地域に子どもが少なくなる中でも、中学校が参加者を募集し、地域住民とともに防災訓練を実施しています。



# ゼミなら頑張る！大学生





# 大学のゼミと連携して若者の地域活動参加に繋げよう

北区 北五葉ふれあいのまちづくり協議会

## 大学のゼミと連携して

## 防災キャンプを一緒に実施すると

## 参加者の貴重な体験に繋がる

一口メモ

北五葉ふれあいのまちづくり協議会では、平成 27 年から実施している 8 月の防災キャンプに、神戸学院大学の学生にゼミの一環として参加してもらっています。

大学生が企画運営を行い、グループリーダーとして小学生を指導してもらう一方で、協議会役員と防災部員が炊き出しなどを行っています。

大学生は学んでいることを自ら実践し、地域側が必要なサポートを行うことで、小学生に貴重な経験を提供することができます。また参加した子どもたちの家庭でも、キャンプのことを話し合うことで、防災や地域に対する意識の向上につながっています。



# ハロウィンがリハーサル





## 各団体が連携した子どもが参加したくなるイベントの実施

長田区 真野地区まちづくり推進会

### 他団体の子ども向けイベントで

### 推進会が企画運営に協力することで

### 相互の強みが発揮されよい取組に

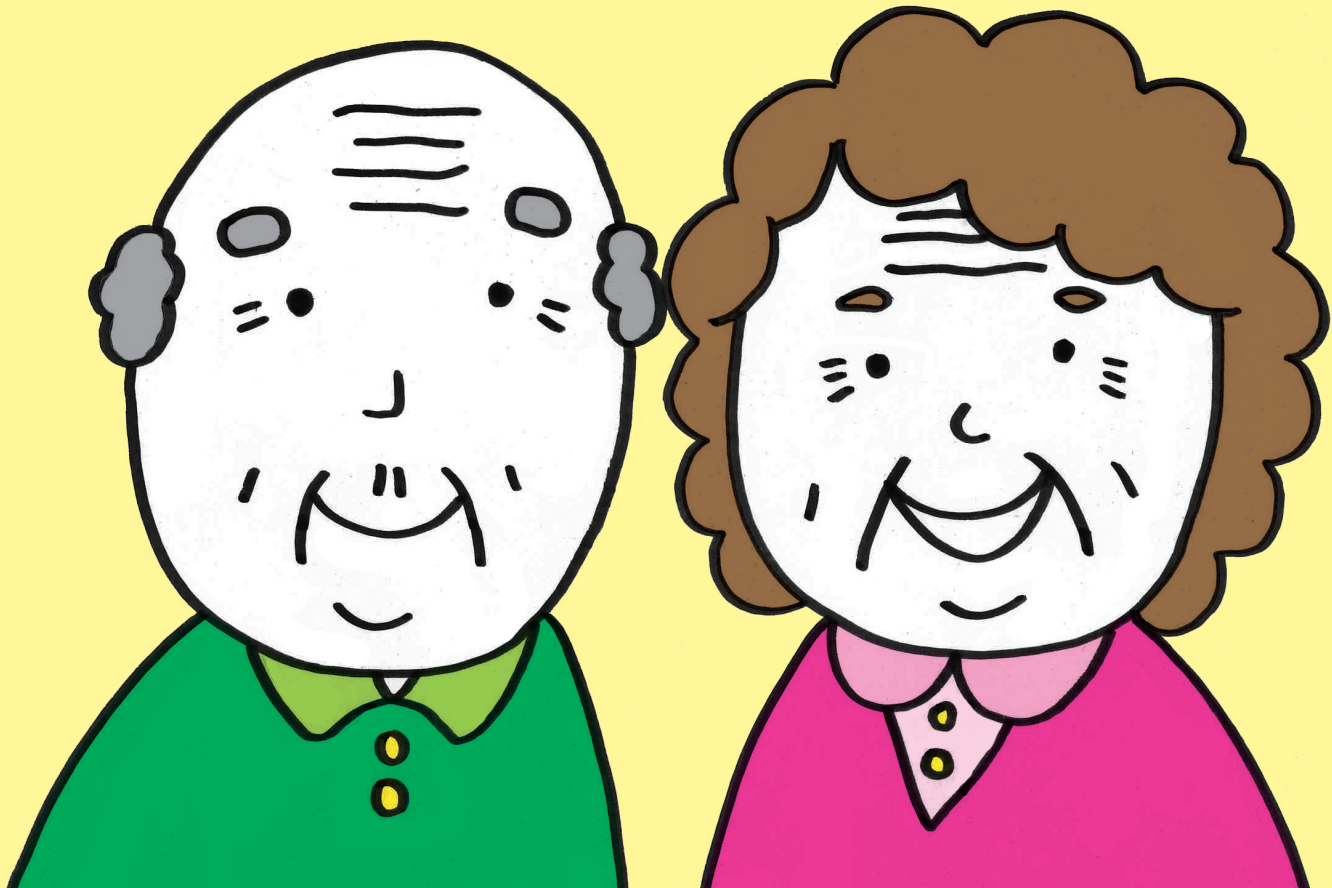
一口メモ

昭和55年創設の真野地区まちづくり推進会 [以下推進会] は、長年に渡ってまちづくり活動に取り組み、まちづくりのノウハウやネットワークの蓄積を持っています。

平成 28 年に青少年育成協議会 [以下青少年協]・PTA が、ハロウィンに合わせた子ども向けイベント「モノウィン」を開催。これは小学生が仮装し、地区内の「こども 110 番の家」約 30 件をまわり、お菓子をもらうイベントです。子どもたちは、楽しみながらいざというときに助けを求められる「こども 110 番の家」の場所を頭に入れることができました。

推進会は、青少協・PTA の裏方として、企業への協賛依頼やイベント協力者の募集、新聞社への広報等を担当。各団体の連携により、単独開催に比べ質・量ともにより素晴らしい取り組みとなり、子どもたちが大いに楽しむとともに、新聞にも取り上げられました。

# シワの数だけグループ活動





## シルバーカレッジ生との連携した地域活動

須磨区 青少年育成協議会松尾支部、松尾ふれあいのまちづくり協議会

**シルバーカレッジで学んだ方に**

**地域活動への協力をお願いしますと**

**グループを創り、活動に参加している**

一口メモ

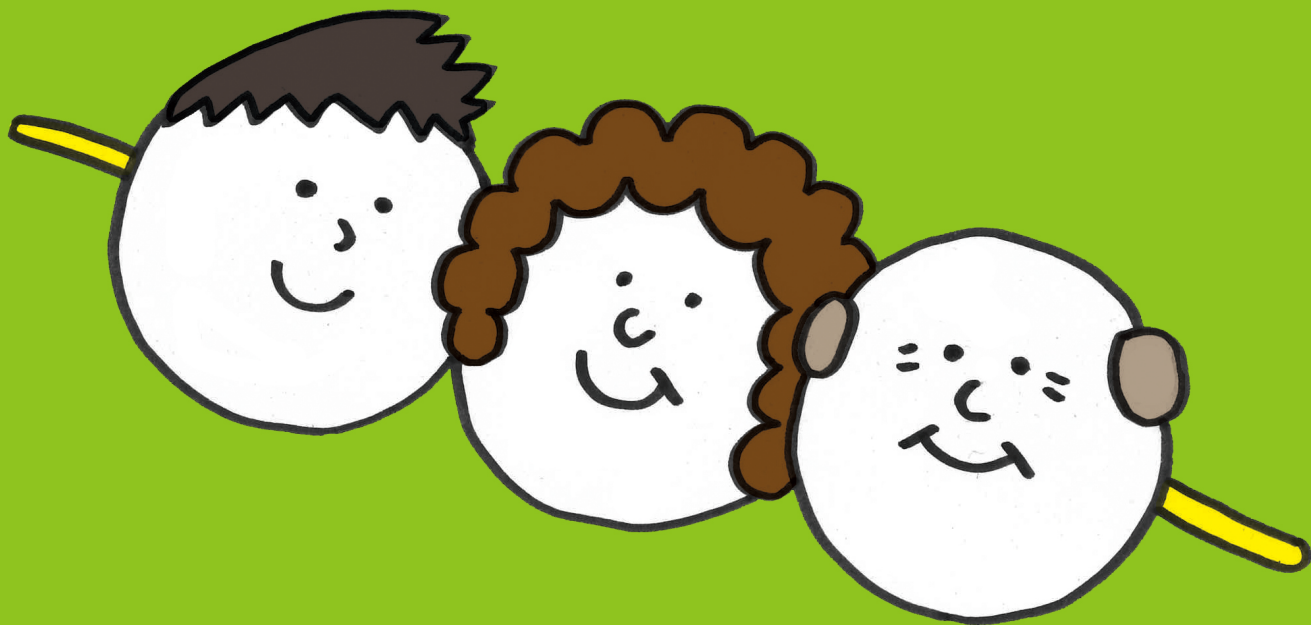
青少年育成協議会松尾支部と松尾ふれあいのまちづくり協議会〔以下ふれまち〕では、役員がシルバーカレッジの人の知り合いに声かけをしたことがきっかけとなり、シルバーカレッジ地域交流部の現役生・卒業生で構成されている「KSC 松尾」と連携して活動をしています。

「KSC 松尾」のメンバーには青少年育成協議会の定例会に出席してもらっており、そのことがきっかけとなって、ふれまちの大きなイベントでは他の所属団体と一緒に運営に参加してもらっています。





# 团体3兄弟





## 色々な地域のグループに寄り添い、活動の輪を広げる

西区 井吹東ふれあいのまちづくり協議会

### 地域で活動している他団体の

### 各活動に協力し、相手に寄り添うと

### 活動の幅や繋がりが広がっていく

一口メモ

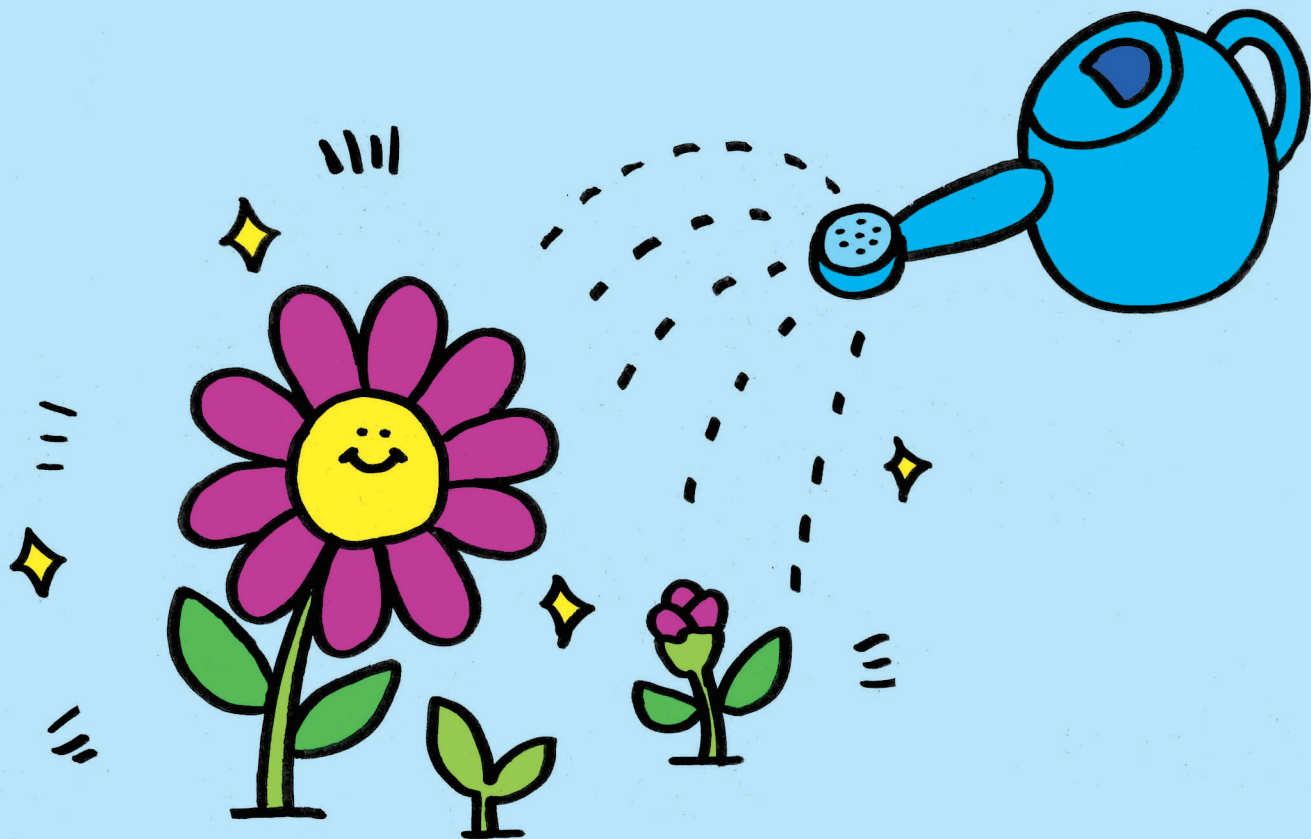
井吹東ふれあいのまちづくり協議会〔以下ふれまち〕では、保護者会など、特定の目的を持ち活動している団体やグループに、積極的に協力を申し出て、信頼関係を築き、少しずつふれまち活動の幅を広げています。

そのとき、最初からふれまち活動に協力してもらおうとするのではなく、それぞれの活動に協力し相手の立場に寄り添うことで、少しずつ地域活動全体に関心を持ってもらえるようにしています。

結果、地域活動に関わりがなかった人達にも自然と地域に興味を持ってもらうきっかけになり、次第に人と人との繋がりが広がっています。



ジュニアから育てよう





# 防災ジュニアチームから始まる地域活動

西区 井吹台防災福祉コミュニティ

**小・中学生がジュニアチームを通じて**

**様々な地域行事に関わると**

**地域活動への参加が当たり前**

一口メモ

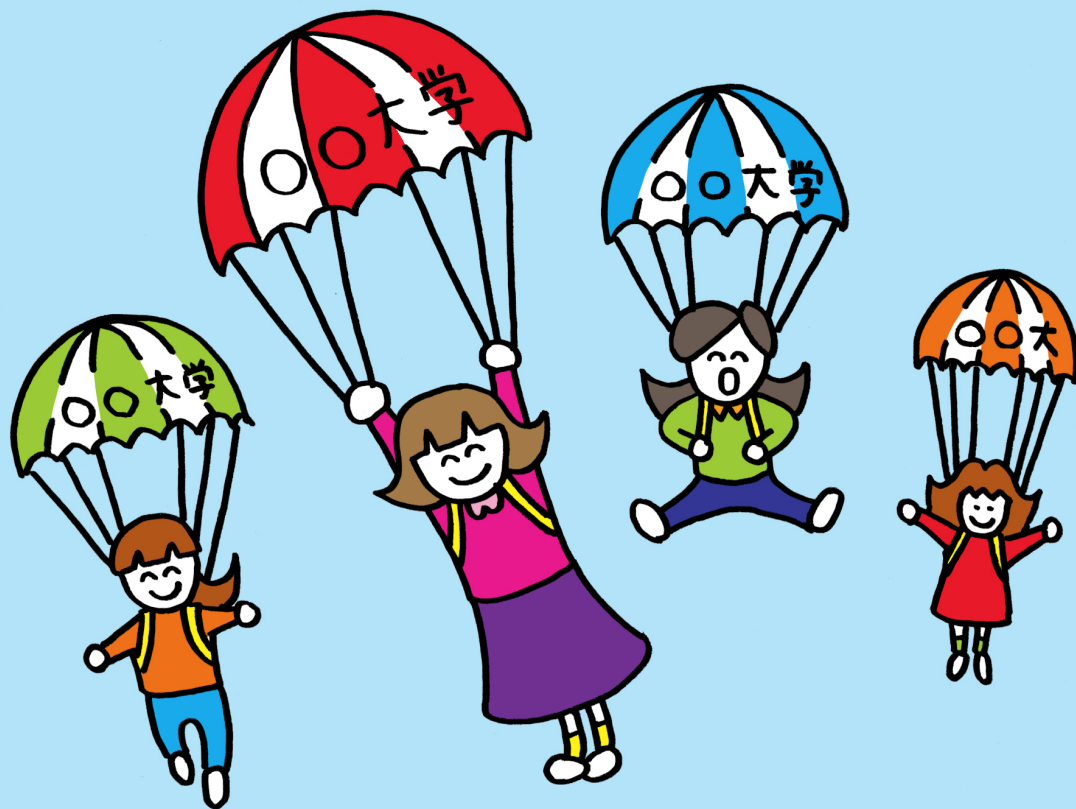
井吹台防災福祉コミュニティでは、小学校や中学校、他の地域団体と連携し、ジュニアチームを結成しています。ここでは、子どもが「自分の身は自分で守る」事を考え、いざという時行動できるよう防災訓練に参加するなど、小学生から経験を積み重ねることを大切にしています。

平成14年立ち上げ時は中学生だけでしたが、平成18年からは小学生も加わり、毎年、各学校を通じて隊員を募集しています。活動は年間10回程度で、防災訓練や市民救命士講習だけでなく、クリーン作戦や募金活動、祭りの手伝いなどの地域活動も行い、子ども達が地域に愛着を持ち、生き生きと活動できる居場所づくりを目指しています。

このチームを経験した子ども達は、地域活動への参加が当たり前と感じており、大人になっても、地域活動に参加してくれることが期待されます。



# 任務は地域活動





# 大学と地域の協力活動

北区 神戸親和女子大学地域交流センター

## 大学が地域活動に関わると

## 担い手充足等の地域貢献と併せて

## 学生の社会貢献が同時に実現

一口メモ

神戸親和女子大学内設置の「地域交流センター」は、地域の方々対象のイベント開催・ボランティアの支援統括など、学生を組織的に地域に繋ぐ役割を果たしています。

センターでは、新入生へのボランティア活動の紹介や、ゼミでのボランティア登録の方法の周知など、学生のボランティア活動の動機付けを進めています。

開催イベントでは、大学のある小部東小学校区を中心に広く参加があり、参加者の交流など地域活性化に努めています。地域も大学を「地域の一員」として児童館行事を協力開催するなど、地域活動の担い手として活躍しています。活動範囲は東小部地域に留まらず、広域にわたり、活動内容は要請に応じて「給食サービスのアトラクション」「スポーツ活動の応援」など多彩です。

派遣先の評判も良好で、継続的に依頼があり、活動は量的拡大をつづけ、地域での担い手確保・育成に大きく貢献しています。

